

会 議 録

会 議 名	辰野町商工業振興審議会			
開催日時	令和 6 年 8 月 28 日（水）10 時 00 分から			
場 所	辰野町役場 1 階 第 2 会議室			
出 席 者 (敬称略)	辰野町議会議員 総務産業常任委員会 委員長	古村 幹夫	出席人数	
	辰野町商工会 副会長	秋山 良雄	審議委員	8 名
	辰野町商工会 商業部会 部会長	伊藤 優	辰野町	5 名
	辰野町商工会 工業部会 部会長	尾名高 正徳		
	辰野町商工会 建設業部会 部会長	中山 昭彦		
	辰野町商工会 女性部 部長	山寺 正子		
	八十二銀行 辰野支店 支店長	青木 俊一		
	アルプス中央信用金庫 辰野支店 兼 宮木支店 支店長	市村 豊		
	辰野町長	武居 保男		
	辰野町 産業振興課 事業者支援担当課長	菅沼 隆之		
	辰野町 産業振興課 商工振興係 係長	野澤 隆生		
欠 席 者 (敬称略)	辰野町商工会 会長	檀原 隆宣	審議委員	1名
	辰野町 産業振興課 企業支援係 係長	西原 功	辰野町	1名
会議次第	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議事項 （1）令和 5 年度商工業振興事業報告と令和 6 年度商工業振興事業経過について （2）辰野町商工業誘致及び振興補助金について （3）その他 5. その他 6. 閉会			
配布資料	別紙のとおり			

会議結果	4. 協議事項 (1) 令和5年度商工業振興事業報告と令和6年度商工業振興事業経過について ○質疑応答 なし (2) 辰野町商工業誘致及び振興補助金について ○質疑応答 なし (3) その他（意見交換） 古村委員 昨年の町の支援はありがたかった。運送業界については、盆休みまで暇な状況であったが、明けてから電子部品関係に動きが出てきたようで、2024年問題も含めて少しずつ忙しくなっている。このまま一気に回復に向かってくれればよいと思っているが、厳しい状況にあるとの声が多い。これからも情報収集をしながら活動していきたい。 伊藤委員 商業・観光業はコロナ禍では大きなダメージを受けた。町から様々な形で補助金により協力してもらいよかった。コロナ禍前に比べ、お客さんの戻りは7割に満たない。今までのビジネスでは非常に厳しい状況にあることから、新しい形を作っていかなければいけないと感じている。長年お店を運営してきた方々と情報共有しながら、一致団結して新たな形を考えたい。これからは、赤字企業を出さない、黒字転換をするといった思いで進めていきたい。 尾名高委員 光学関係については昨年の3月頃から1年以上たってもほとんど仕事がない状況が続く、皆さん苦労しながら経営をしている。工業部会としては、情報交換を密にしながら問題点を洗い直し、今何が重要なのかを検討している。 中山委員 建設の関係では、土木も建築も受注高は減少している状況。製造業に元気がないと設備投資も少なくなる。業種によって違うが、仕事があっても職人がいないことがある。インボイス制度の関係により一人親方のあり方も変わってきて、大手では一人親方をまとめて管理するようなシステムができてきている。建設業界自体の転換期と思っていて、建設業部会として具体的な対応を検討していかなければいけないと考えている。何としても事業継続して従業員とその家族を守っていかなければならない。町の制度などを利用しながら、町を元気にするためにも建設業界は頑張らなければいけないと思っている。 山寺委員 コロナ禍にあっては予約のキャンセル、休業などあり、このまま続いたらどうしたらよいものかと思っていたが、県や町からの補助金があり、一時的出には助かった。支払いは定期的にあるので、貯金を取り崩したりしながらやってき
-------------	---

た。最近は、お家のみが習慣になっている。先日のお客さんには、コロナ感染症は5類感染症に移行したので、店を開けておいてといわれた。商売には定年がないので、元気に頑張っていきたいと思っている。

青木委員

日銀が国の政策金利を引き上げた。八十二銀行も基本的に金利を引き上げていく。貸出金利の短期プライムレートは9月9日に0.15%引き上げる予定。景気が良くなってきている中で金利を上げるという建付けになっているが、お話を伺うと実感としてはまだ差があると認識している。銀行としては、皆様をどのように支援していくかが課題と考えている。何なりとご相談いただきたい。

市村委員

株、為替、債券金利など大きく変動している。アルプス中央信用金庫においても9月に預金金利、融資金利の引き上げが予定されている。一方、売上がコロナ禍前まで戻っていないことや物価が高騰している中で、売上が戻っても収益が戻っていないまま返済が始まっていたり、利子補給が順次終了を迎えたりと経済活動において厳しい局面を迎えていると思っている。地元の金融機関として商工会や行政と協力しながら地元が少しでも豊かに回って行けるように頑張っていきたい。

秋山委員

商工会の会員90%が中小企業である。大企業はよいが、商工会会員のほとんどのところが大変で、受注量があまり増えずに原材料の高騰や人件費の高騰等があり、利益に結び付かない状況にある。商工会としては、それらの課題を改善していかなければならない。新しい試みとして、今年度から中小企業診断士と人材派遣の専門家を入れた。大変な時期ではあるが、商工会を利用して事業を継続していただきたい。

顧客の新規開拓は大きな事業である。町には展示会への出展に協力してもらい助かっている。また、補助金についても助かっている。

5. 閉会

10:35 終了